

未完成というアドバンテージ

富田 正樹

奨励者紹介〔とみた・まさき〕

同志社香里中学校・高等学校聖書科教諭

しかし、主はサムエルに言われた。「容姿や背の高さに目を向けるな。わたしは彼を退ける。人間が見るようには見ない。人は目に映ることを見るが、主は心によって見る。」

（サムエル記上 16 章7節）

特撮変身ヒーロー

皆さんは、昔、『人造人間キカイダー』という特撮テレビ番組があったことをご存知でしょうか？

まずご存知ないと思います。今からおよそ 50 年前に放映されていた番組ですからね。子ども向けの特撮変身ヒーローものです。ジローという主人公が、悪の組織ダークが送り込んでくる怪物に対して、キカイダーに変身して戦う、という毎回1話完結の物語なんですけれども、まずご存知の方はいらっしゃるでしょうね。

それでは、『ウルトラマン』や『仮面ライダー』ならどうでしょう。ご存知の方もいらっしゃるんじゃないでしょうか？

今から 50 年ほど前、私がまだ小学生の頃、こんな特撮変身ヒーローを毎週テレビで観て、心躍らせていたんですね。そして、学校や公園で「へんーしん！ とお！」とジャンプしたりして遊んでいたんですね。

ここ最近嬉しかったのは、そうやって昔テレビで放映されていた作品が、現代風にアレンジされて蘇るということがいくつもあったことです。

例えば、『シン・ウルトラマン』とか『シン・仮面ライダー』という映画がここ数年の間に、相次いで公開されましたね。他にも、『シン・ゴジラ』、『シン・エヴァンゲリオン』というものもありました。ゴジラに関しては『ゴジラ・マイナス・ワン』という作品も最近出ました。

ゴジラは実は私が生まれる前からあったので、ものすごい伝統があるんですけども、私が育てられたのは、やはり仮面ライダーとウルトラマンです。

ウルトラマンと仮面ライダーは、50 年以上経った今でもテレビでシリーズが続いていますよね。今のウルトラマンの最新バージョンは何か知っていますか？

今は私の家にはテレビが無いんですが、ちょっと調べてみると、どうもこの2024年7月から『ウルトラマンアーク』という新番組が始まるみたいなんですね。そして、仮面ライダーの方

の最新バージョンと言え、私が間違っていなければ『仮面ライダーガッチャード』です。

これら仮面ライダーやウルトラマンが、50 年以上の歴史があって、私が子どもの頃からあって、それが今の子どもたちにもまだ受け継がれているというのは、ちょっとすごいことだなと思っています。

皆さんもひょっとしたら、小さいときにはウルトラマンや仮面ライダーの第何世代目かは通ってきたんじゃないかなと思いますけれども、いかがですか？

ライダーマンとキカイダー

その 50 年以上の歴史の中で、私が子どものときに見た仮面ライダーの中に、ちょっと気になるキャラクターがいました。

最初の仮面ライダーは、『仮面ライダー1号』と『2号』だったんですね。そのあと『仮面ライダーV3』というのが出て、そのV3の相棒に「ライダーマン」というのが出てくるんです。この「ライダーマン」が私のお気に入りでした。

このライダーマンは他の仮面ライダーのような完全な改造人間ではないんです。著作権の関係もあって、写真を見ていただくことができないのが残念ですが、他のライダーと違って、顔の下半分は普通に人間の顔がマスクから出てしまっているんです。

改造人間としてのマスクと、まだ改造されていない人間としての顔が混じっている、不完全な改造人間。この不完全で未完成な感じが、なんとも目が離せない魅力に感じたんですね。

もうひとつ私が気になっていたのが、最初に名前を出した「キカイダー」というキャラクターです。

キカイダー。これも写真がありませんが、顔も体も左半分（つまり視聴者から見て右半分）が、スケルトンになっていて、頭や身体の中の機械がむき出しで見えるんですね。しかも、そのスケルトンになっている半分の頭のほうが大きくて、左右非対称のデザインです。よかったら、また検索して調べてみてください。

つまり、このキカイダーというのも、まだ未完成品で、半分はまだ出来上がっていないということなんです。もう少し行けば完成だけれども、まだ未完成。そして、不完全で未完成ゆえの弱点もある。このようなヒーローを登場させることに、業界内の批判もないではなかったそうですが、小学生の私には、キカイダーのそんなところが奥ゆかしい魅力だったんですね。

磨く前のダイヤモンド

さて、先ほど司式者の方に読んでいただいた聖書の箇所を、もう一度振り返ってみたいと思います。

「しかし、主はサムエルに言われた。『容姿や背の高さに目を向けるな。わたしは彼を退ける。人間が見るようには見ない。人は目に映ることを見るが、主は心によって見る。』」（サムエル記上 16 章 7 節）

これは、旧約聖書の中で、ダビデという少年が古代イスラエル王国の王様に選ばれる時の話です。

「主はサムエルに言われた」という言葉から始まりますけれども、「主」というのは神さまのことですね。サムエルというのは預言者の一人で、預言者というのは神さまの言葉を人々に伝えるという仕事をしていました人です。そして、そのサムエルが神さまから新しいイスラエルの王様を選びなさいと言われます。そこでサムエルは、ある町の長老でエッサイという人の息子たちの中から選ぶとする、というお話です。

サムエルは、そのエッサイの息子の中の最初に来た長男を見て、「あ、この子が王にふさわしいな」と思うんです。ところが、そこでサムエルに聞こえてきた神の声が、今日の聖書の箇所です。

「容姿や背の高さに目を向けるな。わたしは彼を退ける。人間が見るようには見ない。人は目に映ることを見るが、主は心によって見る。」

人間を目で見た美しさで選んではいけない。人間は目に見えることで判断したが、神さまは中身で見るんだよということなんですね。

それで最終的にはサムエルは、エッサイの息子のうち、末っ子のダビデを選んだというお話です。

「人は目に映ることを見るが、主は心によって見る。」

この聖書の言葉で私はひとつの別の言葉を連想します。新島襄の言葉です。

今日は「同志社スピリット・ウィーク」でもありますから、少し新島襄にも触れましょう。こんな言葉です。

「磨く前のダイヤモンドのようであれ。内に輝くものがあるならば、荒削りの見かけを決して気にしてはいけない。」

これは新島襄が1885年（つまり同志社を創立してから10年目）の2月に、あるノートに書きつけたメモの言葉なんですね。英語でメモしています。こう書いています。

“Let us be like an unpolished Diamond. Never mind of the outward rough appearance if we could have shining part within.”

そして、この言葉の上の欄外の部分に薄い字でこんな言葉も書いています。

“A policy for our training school.”

「わたしたちの学校の方針。磨く前のダイヤモンドのようであれ。内に輝くものがあるならば、荒削りの見かけを決して気にしてはいけない。」

見かけの美しさや格好の良さなど、優れているところ、そういうもので神さまはあなたを見ているのではありませんよ。大切なのは、あなたの中身で輝くものがあるかどうかなんです、ということです。

未完成というアドバンテージ

磨く前のダイヤモンド。それは、まだ完成していない、まだ完全なものになっていない、ということですね。

不完全、未完成といえ、まさに皆さんのうちの多くの方も、そうではないでしょうか。まだまだこれから成長し、いろんな人間になってゆける伸びしろがあります。

もうできあがってしまっ、成長が終わってしまっている人間じゃなく、未完成の人のほうがアドバンテージがある。

アドバンテージというのは、有利な立場や条件であるということですね。つまり、未完成であるということは、これからも成長できるという点で、完成してしまっている人よりも有利なんだということです。

「今の自分はまだ未完成なんだ」と自覚し続けることが、成長を続ける推進力になるのではないのでしょうか。

これは「自分は未完成なままでいい」とか、「現状に満足していい」という意味ではありません。それとは全く逆です。自分が未完成であると自覚するのは、「だからこそ、もっと完成されたものに向かって挑戦する余地がある」ということです。

ダイヤモンドというと、皆さんはキラキラしたきれいな宝石を思い浮かべるかもしれませんが、磨く前のダイヤモンドの原石は、ただの灰色の石ころみたいな塊です。

新島は、「ダイヤモンドの原石のように、見かけのかわさなにか気にせず堂々と進め。何度失敗してもいいから、とりあえずやってみよう」と言っているわけです。そういう失敗ややり直しが同志社という学校では許されています。いやむしろ、奨励されています。

ダイヤモンドの原石のように、まだ磨かれていなくても、いや、まだ磨かれていないからこそ、これからの可能性があるのだと信じて、いつまでも、どこまでも、挑戦する人生を生きていきましょう。

お祈りをいたします。

祈り

私たちの命と愛の源である神さま。

今日も、あなたに与えられたこの命を生きることが出来ますことを、心から感謝いたします。

私たちは、磨く前のダイヤモンドです。まだまだ未完成で不完全な者です。しかし神さま、不完全であるからこそ、何事にも挑戦してゆく意志をどうかお与えください。

願わくは、ここに集うすべての人が、あなたの愛に包まれ、支えられ、押し出されて、この世を生きてゆくことができますように、どうかあなたの勇気を分けてください。

イエス・キリストのお名前によって祈ります。アーメン。

2024年6月 12 日 同志社スピリット・ウィーク春学期

京田辺水曜ランチタイム・チャペル・アワー「奨励」記録